

中 部 N O W

公益財団法人オイスカ 愛知県支部・中部日本研修センター会報

第311号
令和3年 4月号

発行:(公財)オイスカ中部日本研修センター

〒470-0328 豊田市勤八町勤八27-56

TEL 0565-42-1101 FAX 0565-42-1103

E-mail: chubu@oisca.org http://www.oisca.org/



令和3年度 事業計画発表会

3月12日、センターホールで事業計画発表会が開催されました。事業計画発表会は、本部並びにセンター運営方針の発表、各部門責任者による目標発表をスタッフ全員で共有し、方向性を揃え、研修センターとしての成果を出していくことを目的として実施しています。

3回目となる今回は、責任者の発表に加え、全員参加型とし、一人ひとりが目標を発表しました。オイスカ創立60周年となる本年、本部・国内4研修センターがそれぞれ10か年計画を策定しました。これを基礎とし、令和3年度の方針や目標が責任者から発表されましたので、一部紹介させていただきます。

運営全体としては、研修運営基盤となる財源の確保、オイスカ理念の普及と会員の増強(長期的には850件から1000件へ)研修事業開発、寄付・募金の増額策等。啓発・名古屋西推協発足知立推協発足による会員増強。4センターサミット・シンポジウムの開催支援。研修・農業コース研修生を1名増員、2022年度から研修修業期間を2年制へ。技能受け入れ企業新規5社、技能生6名増員。基礎研修の充実。コロナ禍で大きな影響を受けておりますが、着実に前進していく年にしてまいります。

小杉 裕一郎(筆)



コラム

会員・支援者の皆様、日頃はオイスカご支援をいただき、大変ありがとうございます。2月は研修生入国、基礎研修開始。4月基礎研修修了、農業研修開始。これがセンターの通常の流れですが、現在入国がいつになるかも分からないという前代未聞の異常事態が続いております。技能生入国もすべてストップしています。また、修了式を終えたフイジー研修生は帰国したくても帰国できない状況が続いております。研修生がいて当たり前前のオイスカセンターに誰もいないという、センターらしからぬ状況が続いています。

そんな中であって、多くの会員さんが心を寄せてくださっていることが何より嬉しく、励みになっております。シニアボランティアの中村浩之さんと加藤英行さんが食堂の屋根に登ってペンキ塗りをしてくださいました。酒向淳治先生と鈴木哲夫さんには、毎日農場で作業奉仕をいただいております。福田香緒里さんは、巡回する学校の教職員へオイスカ支援募金を呼び掛けてくださり、多くの先生方から募金協力していただきました。太啓建設の河合監査役からはイチゴ農園に職員・研修生を招待、視察の機会を与えていただきました。辻安全センター辻所長からは安全衛生研修講師の申し出をいただきました。豊田エイタツの清水社長や天狗堂の水野社長、安成工業長田会長からは、多額のご寄付をいただきました。オイスカセンターには会員・支援者様からの協力があり、センター運営が成り立っております。コロナ禍の中、会員様に支えていただいていることに、感謝する日々です。

令和3年度の中部センターは、スタッフが2名増えます！中堅・若手1名ずつで活気ができます。60周年記念事業の一環として昨年延期となりました国際協力支援シンポジウムの8月7日開催が決定され、準備が始まります。入国が叶えば研修生は1名増員され4名が来日いたします。愛知県支部は、これまで会員空白地帯であった名古屋地区にオイスカ拠点をつくるべく、推協設立に向けて光岡会長を中心に関係者の方々と会員募集に動いています。夜明け前が、最も暗い。前向き、夜明けの年にしていきたいと思います。

小杉 裕一郎(筆)

安城親睦ゴルフ大会の開催

オイスカ安城推進協議会主催による親睦ゴルフ大会が、3月26日（金）葵カントリークラブにて開催されました。

当日は天候に恵まれ、桜の咲くよい季節に開催することができました。コロナ禍のため密と飲食を避け、感染防止を念頭に置いての親睦ゴルフ大会でした。ゴルフの優勝者は、安城国際交流協会会長の神谷和也さんでした。



村松 明（筆）

3号技能実修生の紹介

現在日本では40万人以上の技能実習生が来日して活躍しています。通常技能生は1号（1年目）2号（2、3年目）終了後に帰国ですが、再来日して2年延長し、‘技能実習生3号’として頑張っているマレーシアからの二人をご紹介します（インタビューからの抜粋）。自分のやりたいことが見つかったからなのか、職場を訪問するといつも笑顔が返って来る素敵な二人です。先輩として後輩を支え、これからも社員の一員として会社を盛り上げて行ってください！

ファイザル（ヤスキ建設株式会社：安城市）

初めの入国と比べると仕事のことや会社の人たちのことがわかっているので、日本に来ることはドキドキしませんでした。3号生のメリットは日本の交通の事や生活の事、仕事がある程度わかっている事、会社のみならずすぐに仲良くなれる事です。

マレーシアに一時帰国した時日本語を忘れてしまいましたが、戻ったきたら、だんだん思い出しました。日常会話は上達しますが、テストは別です。勉強しなければなりません。今は自分の後輩もできてとても楽しいです。

レズワン（株）ヤナギサワ自動車販売：豊田市

3号生になってから仕事の内容が少し変わって指示されたことだけでなく自分で考えて作業することが多くなりました。技術がさらに向上すると思います。日本語も上手になります。できればもう少し長く日本に残ってさらに自分を成長させたいと思っています。



作業後のファイザル（写真中央）



塗装作業中のレズワン

若手職員育成研修に参加

3月17日(水)、18日(木)に中部日本研修センターの若手職員レニ、グレゴリー、中村がオイスカ本部主催の若手研修会(オンライン開催)に参加しました。

日本各地のオイスカの若手職員21名が参加し、組織の目標を達成するためにどのように仕事に取り組むのか自らの役割を再認識し、今後の行動目標をたて、意見や考えを共有しあいました。お互いに仕事に対する意識を高め合うことができ、有意義な時間となりました。



オンラインで研修
中の職員レニ

オイスカの裏庭の桜が 3月31日に満開になりました



3月研修生の活動 筑田明生(筆)

国際ボランティアコースのメレさん、農業コースのライさん。二人ともフィジーへの飛行機が飛ばないため、研修継続中です。新研修生の入国も目途が立たず、たった2人ですが頑張っています。



キュウリの移植作業



桃の敵花



トラクター運転



後藤先生に教えて頂いて、ワンピースを縫いました。



村田先生から春の花(桜やチューリップ)使った生け花のご指導を頂きました。

WEB 報告会視聴のご案内

今年度は、国内外で予定されていたボランティア活動をはじめ、各種行事の多くが延期や中止となり、今後も実施の目途が立たない状況です。しかし、オイスカの活動現場では感染対策を取りながら、粛々と活動を進めています。コロナ禍により活動現場に足を運んでいただくことが困難になっている中、オイスカ活動を支援して下さっている皆様へ向けて、現場より、現状や今後の展望について、写真や動画等を活用しながらお伝えしていきます。ご参加お待ちしております。

第4回 4月14日(水) 12:00~13:00

テーマ:「半世紀を迎えたネグロスでの活動と養蚕事業の今」

報告者:オイスカ・バゴ研修センター所長 渡辺重美 ほか



視聴方法 Zoomのウェビナーを使って配信を行います。※YouTubeでも同時配信します下記サイトよりログインしてください(事前申し込みは不要です <https://zoom.us/j/95869117649> (ウェビナーID:958 6911 7649))

更新会員名簿(719/827)

安城(64/75) 有限会社かねとみ
奥三河(6/7) 峰野修、穂積亮次
豊田(208/251) 櫻木久枝、前田さくの、海老澤要造
名古屋(62/60) トヨタ車体株式会社、株式会社 GUNSHI コーポレーション
名古屋北(17/12) 小澤努
丹羽(57/62) 千田勝隆、生興株式会社
西尾(35/42) 加藤周子
センター(33/44) 松本尚人、村上洋康、高山亜美、サントリービバレッジサービス株式会社

新入会(個人)

株式会社 ピログレス(名古屋市)
廣瀬秀子(岡崎市)

新入会(法人)

株式会社 尾北(江南市)
学校法人 聖英学園(江南市)
ホンダロジコム 株式会社(春日井市)
株式会社 代輝(名古屋市)
東菱電子 株式会社(名古屋市)

寄付金

リネットジャパングループ 株式会社(大府市)
酒向淳治(豊田市)
酒向貞子(豊田市)
株式会社 ヤマワ(各務原市)
オイスカ西尾推進協議会(西尾市)
清水孝江(豊田市)
神野春光(名古屋市)

寄付金(つづき)

堀井知幸(西尾市)
吉村淳子(瀬戸市)
近藤将喬(豊田市)
五ヶ丘東小学校教職員(豊田市)
オイスカ豊田推進協議会(豊田市)
小杉裕一郎(豊田市)
三上正豊(豊田市)
沢田美智子(名古屋市)
富田司常(滑石市)
オイスカ刈谷推進協議会(刈谷市)
オイスカ岡崎推進協議会(岡崎市)
オイスカ三重推進協議会(四日市市)
オイスカ碧南高浜推進協議会(高浜市)
CKD 株式会社(小牧市)
御作小学校教職員(豊田市)
豊田市教育委員会教育センター教職員(豊田市)
菅沼一成(日進市)
株式会社 浅野機械工業所(豊田市)
ゆう農会(豊田市)

寄付品

畔柳みどり(豊田市)
坂元正弘(豊田市)
松石裕就(名古屋市)
園部宣治(豊田市)
辻宏夫(弥富市)
太啓建設 株式会社(豊田市)
中野良之(静岡県湖西市)
明保澄雄(岡崎市)
市脇公平(大府市)
門池千尋(豊田市)
オイスカ西日本研修センター(福岡県)
信濃屋豆腐店(豊田市)

オイスカ卵の販売

- ・遺伝子組み換えでない
トウモロコシを餌に使用
- ・平飼いの鶏から産まれた
新鮮たまごをお届けします

6個入りパック 240円
10個入りパック 400円

寄付品(つづき)

鈴木康子(豊田市)
坂下瑞萌(岡崎市)

インクカートリッジ

安成工業 株式会社(安城市)
中部プロボノセンター(名古屋市)

書き損じはがき

倉橋靖俊(豊田市)
坂元正弘(豊田市)
福田香緒里(豊田市)